

岡富中学校 カラミレンガ塀耐震診断結果及び耐震補強（案）

の概要に関する意見募集について

岡富中学校の「カラミレンガ塀」については大正4年2月に建造され、100年以上も市民の皆様が親しまれてきましたが、現在の法的な基準を満たしていないことから、その安全性に鑑み、保存・維持の在り方等につきまして、様々なご意見をいただいております。

延岡市教育委員会はこのような状況を踏まえ、「カラミレンガ塀」の保存の可能性、方法等について専門的な知見を有する調査機関に委託を行い、調査をおこなってまいりました。

このたび調査結果を踏まえた保存方法等について一定の方向性をとりまとめましたので、これを公表し、広く市民の皆様のご意見を募集します。

〈意見募集の対象事業〉

岡富中学校カラミレンガ塀耐震診断結果及び耐震補強（案）の概要

〈事業概要閲覧場所〉

市ホームページ、情報公開センター（本庁2階）、教育委員会総務課（本庁4階） 北方総合支所市民サービス課、北浦総合支所市民サービス課、北川総合支所市民サービス課、延岡市立図書館、エンクロス、各コミュニティセンター

〈意見の募集期間〉

令和3年2月19日（金曜）から令和3年3月10日（水曜）必着
窓口での受付は令和3年3月10日（水曜）17時00分迄

〈意見を提出できる方〉

市内に居住する方

〈意見の提出方法〉

提出様式は問いません。ご意見につきましては、「岡富中学校カラミレンガ塀耐震診断結果及び耐震補強（案）の概要」への意見であることを明記し、ご意見とご住所、ご氏名を記入の上、窓口提出・郵便・電子メール・FAX のいずれかの方法にてご提出ください。

【窓口提出】 延岡市教育委員会総務課、北方・北浦・北川総合支所各市民サービス課

【郵 送】 〒882-8686 延岡市東本小路2番地1

延岡市 教育委員会 総務課

【電子メール】 k-soumu@city.nobeoka.miyazaki.jp

【F A X】 0982-22-7037

〈提出された意見の取り扱い〉

いただいた貴重なご意見の概要と市の考え方については、個人情報を除いて市ホームページで公表します。

個々のご意見に対して、直接個別の回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。なお、住所・氏名を明かさずに提出していただいた意見は、正式に受理しない場合があります。

岡富中学校カラミレンガ塀耐震診断結果・耐震補強（案）

概要

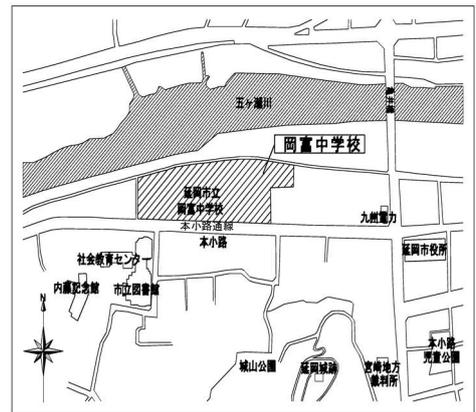
岡富中学校の「カラミレンガ塀」については大正4年2月に建造され、100年以上も市民の皆様が親しまれてきましたが、現在の法的な基準を満たしていないということから、その安全性に鑑み、保存・維持の在り方等につきまして、様々なご意見をいただいております。

延岡市教育委員会はこのような状況を踏まえ、「カラミレンガ塀」の保存の可能性、方法等について専門的な知見を有する調査機関に委託を行い、調査をおこなってまいりました。

このたび調査結果を踏まえた保存方法等について一定の方向性をとりまとめましたので、これを公表し、広く市民の皆様のご意見を募集します。

<塀の概要>

- 名称 : 岡富中学校 カラミレンガ塀
所在地 : 岡富中学校敷地 南側道路沿い
築年数 : 大正4年(1915年) 築106年
構造 : 煉瓦造
塀の長さ : 122m
塀の高さ : 歩道側2.1m 学校側1.16m
基礎 : 礎石建ち

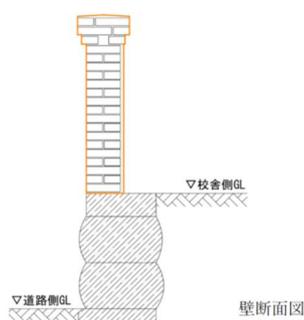
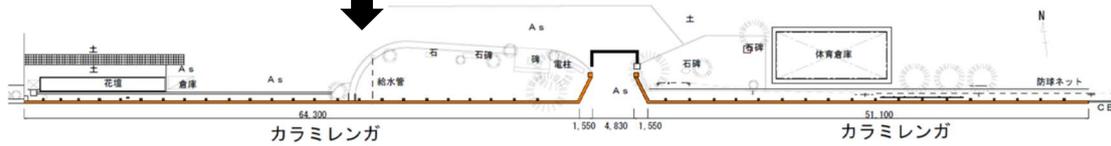
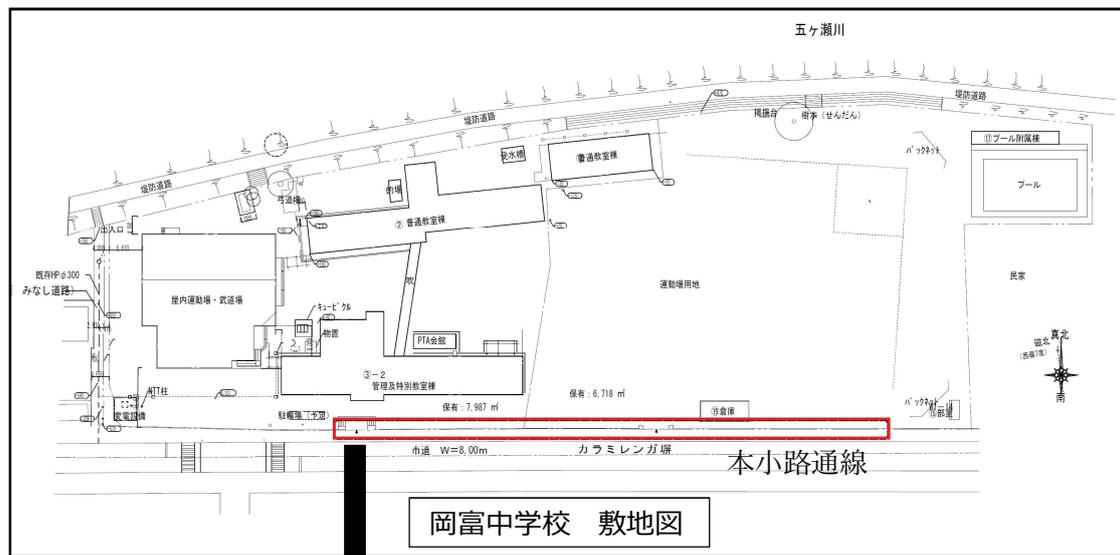


付近見取図

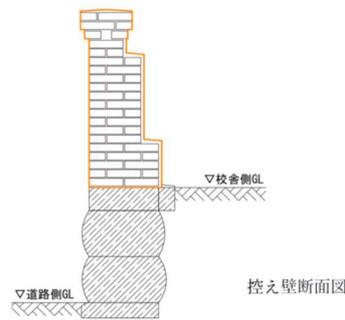


写真 カラミレンガ塀

カラミレンガ塀の詳細図



塀断面図

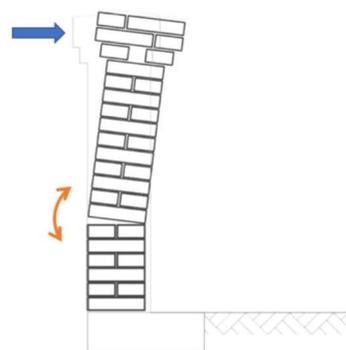


控え壁断面図

<耐震診断の結果>

耐震診断の結果、現状のレンガ塀は建築基準法で求められている地震（震度 5 程度）が発生した際に右の図に示すように、レンガ塀が折れるような倒壊を起こす危険があることが判明しました。

そのため、耐震性を確保するためには耐震補強が必要となります。

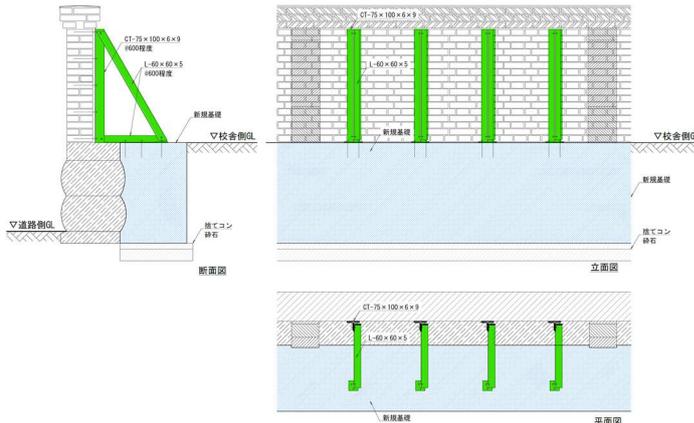


倒壊のイメージ

<補強の方法（案）>

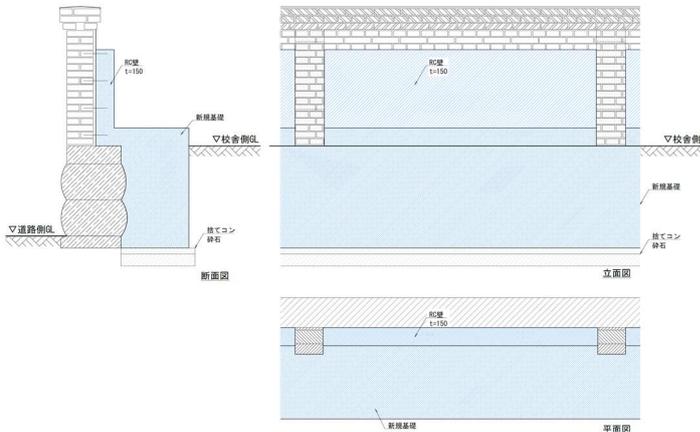
補強は道路側からの景観を維持するため、学校敷地内側にて補強する計画とし、次の2案にて検討します。

【A案】鉄骨部材による補強



- ・鉄骨部材を設置し支えにて補強する。
- ・既存のレンガ塀の不陸に合うよう鉄骨部材を設置する必要があるため、工事の難易度が高い。
- ・鉄骨部材で部分的にレンガを支えるため、目地補修やレンガの部分積み直しが必要となる
- ・概算金額
88,000 千円

【B案】コンクリートによる補強



- ・コンクリート擁壁のように裏側で補強する。
- ・一般的なコンクリート擁壁と同様の工事方法で施工可能なため工事の難易度はA案より良い。
- ・コンクリートの壁で「面」でレンガ塀を支えることができるためレンガ目地の補修程度ですむ。
- ・概算金額
50,000 千円

※両案ともレンガ塀の補修（目地、破損部分）を行うことを前提としています。

※レンガ塀の補強に併せ景観を考慮し、敷地東側の既存コンクリートブロック塀の部分を撤去の後、カラミレンガと類似の仕上げを施す塀の新設を含む総延長15.8mで算出しています。

※その他、実施設計費委託費も含まれています。

※補強後の維持費はこれまでどおり発生しないと考えますが、レンガ塀に大きなひび割れ等が確認された場合にのみ部分的な補修費が発生するものと思われます。

ただし、A案においてのみ、高耐久性の処理を施した鉄骨部材を使用しますが、腐食が著しく進行した場合は鉄骨部材の取替が必要となることが考えられます。

<耐震補強以外の検討>

現在のレンガ塀は倒壊の危険があると診断されたため、レンガ塀を耐震補強せず、既存のレンガ塀を撤去のうえ景観に配慮した木塀を設置する工法について検討します。
なお、検討においては東京都が策定している「国産木材を活用した塀等の設置ガイドライン」を参考としています。



- ・木塀の仕様
総延長：158m
柱部：亜鉛メッキ
木板：桧（木材保護塗料塗）
加圧注入による防腐・防蟻処理
木板の耐用年数20年
- ・概算金額
60,390千円
（既存レンガ塀の解体処分費22,000千円 他を含む）
【維持費】（20年間毎）
30,188千円
塗装の塗り直し、木板の取替

資料）国産木材を活用した塀等の設置ガイドライン 2020/04/01（東京都）

<カラミレンガ塀の保存について>

当該地区は延岡市都市景観条例における景観形成重点地区（城山周辺地区）に指定されています。そのため、カラミレンガ塀のある現在の景観を維持することを重視し、工事のし易さ、費用及び維持管理費等を考慮し、耐震補強案の「B案」にてカラミレンガ塀を適切に維持保存する方針とします。